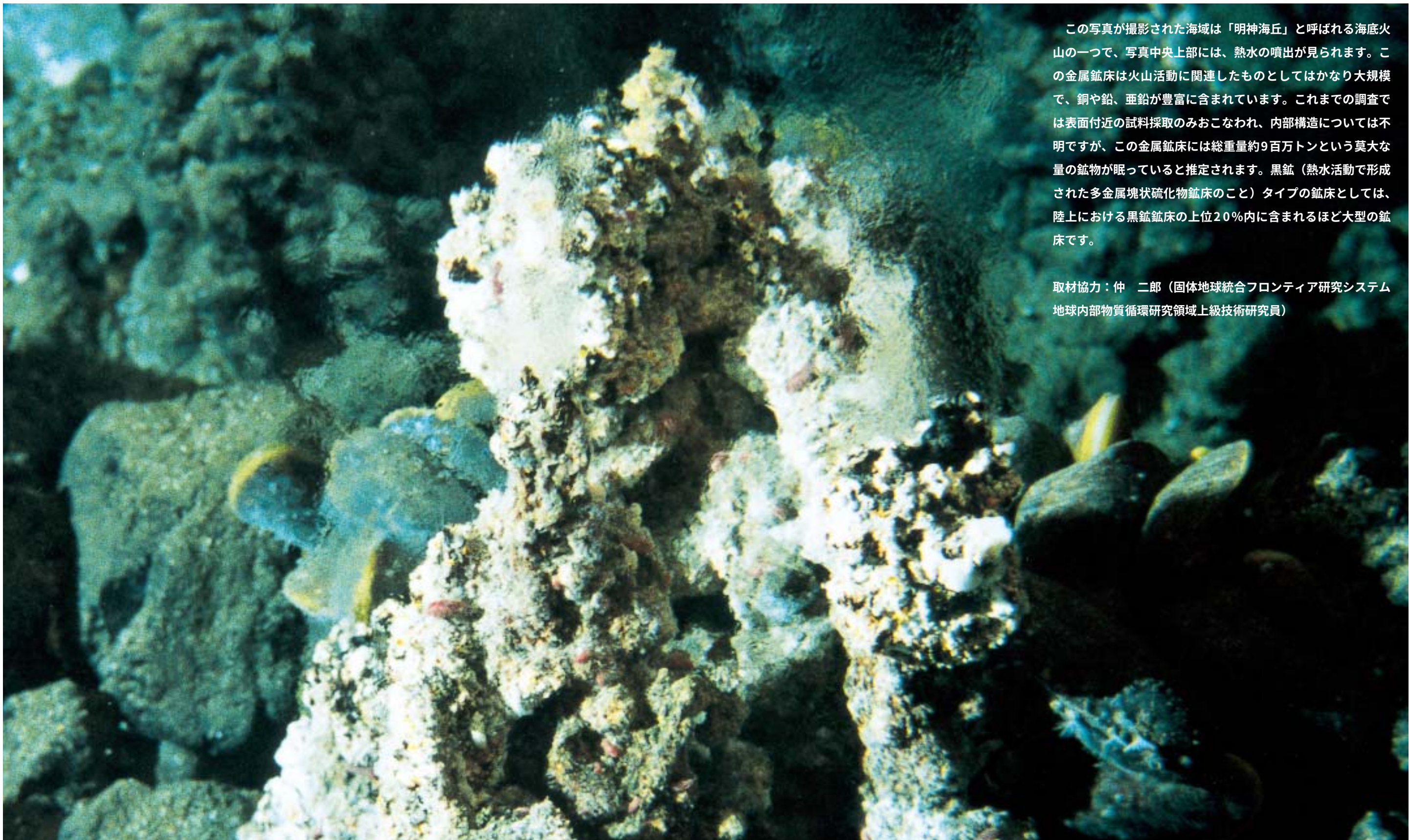




JAMSTECでは1997年6月から1998年5月にかけて、10回におよぶ伊豆・小笠原周辺海域での有人潜水調査船「しんかい2000」による潜航調査をおこないました。このとき発見されたのが、大規模かつ活動的に成長している金属鉱床です。

## 伊豆・小笠原で発見された大規模な金属鉱床



この写真が撮影された海域は「明神海丘」と呼ばれる海底火山の一つで、写真中央上部には、熱水の噴出が見られます。この金属鉱床は火山活動に関連したものとしてはかなり大規模で、銅や鉛、亜鉛が豊富に含まれています。これまでの調査では表面付近の試料採取のみおこなわれ、内部構造については不明ですが、この金属鉱床には総重量約9百万トンという莫大な量の鉱物が眠っていると推定されます。黒鉱（熱水活動で形成された多金属塊状硫化物鉱床のこと）タイプの鉱床としては、陸上における黒鉱鉱床の上位20%内に含まれるほど大型の鉱床です。

取材協力：仲 二郎（固体地球統合フロンティア研究システム 地球内部物質循環研究領域上級技術研究員）